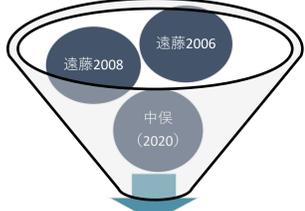


# 中国人日本語学習者の母語を配慮した持続的文法学習 —～テモイカの提示方法の改善を例として—

李彪（リヒョウ） 関西大学 M2

## 1. はじめに

日本語教育において、テモイ（カ）はどんな研究をなされてきた？



残された課題：

初級以降のいつ、どのようなものを追加して教えるべきか。

当該文法項目の発展的な学習が重要である

中国人日本語学習者が「テモイカ」を習得できているか？

場面1：ある問題がわからなくて先生に説明してほしい。

先生、この問題を説明してもいいですか



動作主の違い

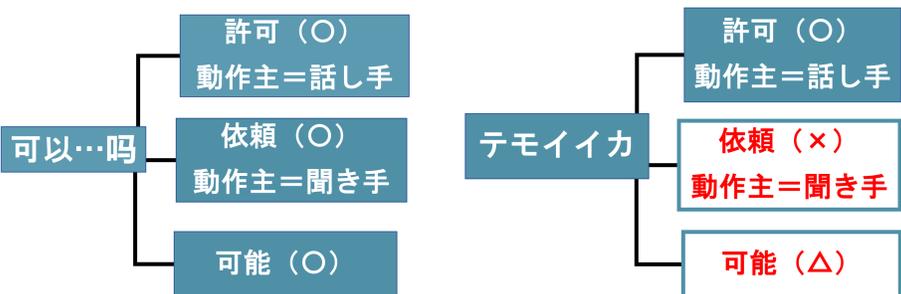
場面2：初めて行く店のレジの人に支払い方法について聞いている。

すみません、クレジットカードを使ってもいいですか？



可能表現との混同

母語の負の転移？（中日対照）



動作主の違い	可以。。。吗 「動作主=話し手（許可求め）」 「動作主=聞き手（依頼）」 両方が使える。	テモイカ 「動作主=話し手（許可求め）」は使用可 「動作主=聞き手（依頼）」は使用不可
用法の違い	「許可」「依頼」「可能」 全部使用可	「許可」場面は使用可 「依頼」場面は使用不可 「可能」場面は状況により 使用可と不可の場合がある

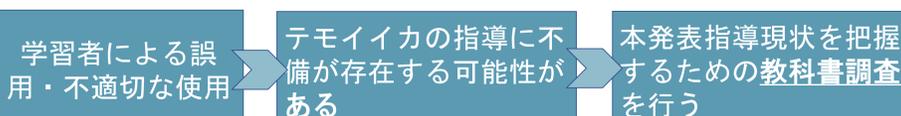
## 2. 本発表の立場

中国人日本語学習者に対する当該文法項目の指導ポイントは？

指導ポイント①  
～テモイカの「動作主の人称」は話し手であることを明示的に提示する必要がある。

指導ポイント②  
～テモイカと可能表現とを比較しながら、～テモイカの使用可否について言及することが重要である。

本発表でやることは？



## 3. 教科書調査

教科書・教師用指導書の一覧

調査範囲

- 『新編日語 1～4』（新編）
- 『総合日語 1～4』（総合）
- 『日語総合教程 1～4』（日程）
- 『基礎日本語総合教程 1～4』（基礎）
- 『新編日語教程 1～4』（新程）
- 『新編日語 1 教学指南』
- 『基礎日語総合教程 1 教学参考書』

- ①当該文法項目に関わる解説
- ②会話文/文法解説/文法解説以外の箇所に現れている～テモイカ文（全101例）

研究課題（RQ）

- RQ1：「動作主の人称」に対する説明がどのようになされているか。  
RQ2：～テモイカの使用可否について可能表現との比較から言及されているか。

## 4. 調査結果

RQ1

「動作主の人称」に対する説明が重視されていない

提示しているのは1種類のみ、他の教科書や教師用指導書が提示されていない。

一部の例文に誤用に繋がる提示の仕方が見られる

例：  
教室が暑くなりましたから、窓を開けてもいいですか。  
（教室里有點熱了，可以開一下窗嗎？）  
（『新編日語教程1』：181 解説用例文）

日本語文と中国語訳では共に「動作主の人称」が提示されていない。

上記の提示方法は「動作主の人称」を考えずに、～テモイカを産出する危険性がみられ、「場面1」の誤用につながる記述だと考えられる

RQ2

言及している教科書が少ない、更にその説明は学習者の誤解を招く恐れがある

許可与えの権限のない人に対して「許可求め表現」を使ったら、相手をその権限がある人と見なしていることになり、丁寧な言い方になる。『総合日語3』

～テモイカの使用文脈が可能表現と混同

例：  
金さえあれば買えないものはないと言ってもいいですか。  
（『新編日語2』：222文法解説の例文）

ある状況ができるか、できないかを問う場面である。

可能表現が優先的に使われると思われる文脈で、～テモイカ文を提示している。場面2の不適切な使用に繋がるのではないかと考えられる

## 5. 今後の課題

初級以降、「どんなものを追加して教えるべきか」の議論を進めるために、「学習者に足りないものは何か」を特定するための学習者使用実態調査を行う。

参考文献：  
遠藤直子（2006）「初級文型の硬直化」を防ぐために—～テモイカ文型を例として— 『日本語文法』6-1, 72-87.  
遠藤直子（2008）「日本語学習者による初級文型～テモイカのとりえ方について」—「初級文型の硬直化」の問題から— 『日本語教育』137, 21-30.  
中俣己（2020）「書き言葉コーパスに見られる「てもいい」の用法—頻度とコロケーションを考慮した文法記述—」 田窪行則・野田尚史（編）『データに基づく日本語のモダリティ研究』第2章，くろしお出版，21-39.